

道の駅「なぶら」2周年

4月17日に、道の駅「なぶら」のオープン2周年を祝うイベントが行われました。

去年も大盛況だった、周年祭でしたが、今年は駐車場内に特設ステージを設置し、地元からはSHIN-NABURUと高知市からチームの「ほにや」がステージでよさこい踊りを披露。2チームの踊りの後は、観客も一緒に「正調よさこい」を踊り、楽しみました。

その他にも、お楽しみ抽選会や、カツオのたたきの食べ放題コースが用意されたり、フードコート前の軒下で飲食店の出店などもあり、地元の方と、道に駅を訪れた観光客で大いに賑わいました。

これからも、道の駅「なぶら」をよろしく願います。



写真上「ほにや」写真下「SHIN-NABURU」

カツオのぼりフェスティバル

坂折地区では、平成13年以降、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、カツオのぼりと鯉のぼりを伊与木川周辺に展示しています。近年、カツオのぼりの認知度も上がってきていて、町外からの観光客も車を止め、川沿いを歩きながら、新緑の景色とカツオのぼりを見て楽しみました。

ゴールデンウィーク中の5月3日は、坂折地区の伊与木川周辺で、カツオのぼりフェスティバルが行われました。今回で9回目となるこのイベントは坂折地区の方々が中心となり、出店や紙鯉のぼり作り体験や、小学校3年生以下の子どもに鯉のぼりの配布を行いました。当日、昼から雨が降ってきたため、昼までとなっていました。子どもたちはもらった鯉のぼりを、風になびかせ楽しんでいました。



日産自動車株式会社から電気自動車が無償貸与されました

日産自動車株式会社が展開する「EVをもっと身近に！プロジェクト」/電気自動車活用事例創発事業」に黒潮町が応募したところ、モニター自治体に採択され電気自動車「e-NV200」を3年間無償貸与していただくことになりました。

本事業は、日産自動車株式会社が、より良い街づくりや行政課題の解決などの一助となる活用方法を考案した自治体に対して、「e-NV200」を3年間無償貸与し、同車の特徴を活かした活用事例を積み上げ、水平展開することにより電気自動車のさらなる普及を目指すものです。

4月28日に、本庁玄関前で貸与式が行われました。



この車両は、走る蓄電池として多目的に活用できる電気自動車であり、CO2の削減だけでなく、さまざまな

場面での活用が期待できるものです。

黒潮町では、保健センターに配備し、日々の業務での活用や、屋外イベントなどでも使用したいと考えています。

また、保健センターには「太陽光発電」が整備されており、「e-NV200」の電源は太陽光発電でまかなうことができますので、災害時には緊急車両として機動力を発揮し、給電機能を使って避難所でのニーズに応えることができます。

○お問い合わせ

佐賀支所 地域住民課
保健センター

☎ 55-7373 (直通)

